

## フォーチュンシアター「まにまにま」劇評

文/セシル・ギリコ (歌手・パフォーマー・バーオーナー)

まにまにま。不思議な響きである。八戸の演劇好きにはすでにお馴染みのフォーチュンシアター。今回は小・中短篇が4篇&ゲストアーティスト回もあるとのこと。福袋を開けるときのようなくわくを胸に、中央付近の座席に陣取った。脚本は仲坪由紀子、演出は仲坪と佐藤拓之。実力派タッグにますます期待が膨らむ。

冒頭は「記念日の本」と題した短篇2篇。市内のとあるバーが舞台である。まず登場したのは、束の間、家庭から解放され、自由を謳歌中の2人の女性。同世代だが、結婚まだ浅いえり(シマザキアヤノ)と、近頃主婦業に追われている元ピアニストの直美(江刺家佐智子)。母と女を行き来する直美の最後の表情に、女性の切なさや強さが滲む。2人は演劇を初めてまだ数年だが、確実に魅せる役者である。

2本目はバブリーなギャルが2人。ヨッコ(沼山華子)とミナヨ(外館暢子)である。ナウい風貌にイケてる会話。当時が舞台と思いきや…記念日の本を開きグイッと離す仕草に、現代であることがバレる。八戸組ベテラン2人の怪演…もとい快演はコメントしながら、客の爆笑を難なく誘う。「笑い」は非常に難しく、テンポがほんの少しでもズレれば途端にシラける。八戸演劇の新たな光を感じた2本であった。

さていよいよ中短篇へ。「降りしきる」は仲坪演じる一人芝居だ。南部町出身、東京の演劇界で活躍する彼女の半生が、浅虫温泉から関東に飛び出した主人公のフラダンサーに重なる。キーとなる曲はエルヴィスの「ブルーハワイ」。実は最近、この曲を歌い始めたばかりだった私。目を瞠った。フラは、言ってみれば手話だ。腕の動きそのものに意味が宿る。最後、主人公がブルーハワイを踊る。動き一つひとつの意味が聴こえてくる。過去と現在が重なる。…涙。



「降りしきる～女ひとりバージョン」ラストシーンでブルーハワイを踊る仲坪由紀子 (撮影・カナトメタカミチ)

最後は「アップルパイ」。登場するのは東京組の2人。仙台出身の佐藤拓之と、私の中学の一つ上の先輩、鈴木利典である。双方髪を白く染め、だいたい年齢の出立ち。何故だろう。鈴木は老人役は本当に板に付く。初め2人の関係は、熟年の同性愛カップルのように見えた。抱きしめ合い、慈しみ、お互いを支え合う…。それがある瞬間、盲目の老人幸太郎(鈴木)と、盲導犬のヒカル(佐藤)であることに、観客は気付くのである。家の中では目も見え、口も利ける2人。外に出ると逆なのだ。

手話であるフラ、幸太郎の目であるヒカル。このふたつの物語は、最後に時間軸を超えて交わる。時の間にふわりとたゆたう、壮大な前後篇なのだ。

大切なものを守る時、人は優しくなれる。優しさは、確固たる強さだ。この芝居は、迷える現代の私達に、全盲全聾の女神カイオナが遣わした道案内の大きな鳥、イヴァなのかもしれない。(文中敬称略)

●筆者近況  
1979年八戸市生まれ。本名瀬知春子。17年間の東京のアーティスト人生から2014年帰八。現在、歌手・司会者などの傍ら、大工町にてバー「サロンドギリコ」を営む。



### 第58回 東北現代舞踊合同公演

現代舞踊協会主催、東北6県の現代舞踊家の競演 【日時】9月18日(日) 12:00開場 12:30開演 【場所】八戸市公会堂ホール 【料金】2,000円(当日2,500円) 【チケット取扱】八戸市公会堂・各出演団体 【問合せ】公演実行委員会 ☎090-9741-4985 (大向)

### 演劇空間 スペースベン

～演劇好きのための、演劇の場～

※特別番組以外 金曜日は19時30分～、料金は一般前売500円 大学生以下前売200円(当日それぞれ100円増し)  
※チケットはスペースベンにて販売。スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい  
八戸市柏崎1-11-8 TEL:080-6025-0990 FAX:050-3588-8350  
E-MAIL:owner@spaceben.com URL:https://spaceben.com/



### FANS FRIDAY AMUSEMENT NEGATIVE SHOP

「かたり場」継続開催しています。詳細はホームページやSNS等でご確認ください。

WHAT'S "FANS"?

多目的スペース「SpaceBEN」にて、毎週金曜日の夜7時30分から約30分の芝居やダンスやライブを楽しむ企画です。

— 一般前売500円 / 大学生以下前売200円(当日それぞれ100円増) —